

基本構想

(将来ビジョン・まちづくりの基本方向・行政の姿勢と役割)

1. 将来ビジョン

◆将来に描くまちの姿

『出会いが織りなすふるさと
“元気”と“うるおい”のあるまち草津』

「高いところざし」 「出会いと交流」
「親しみと憧れ」 「自負と責任」

2. まちづくりの基本方向

- ・「人」が輝くまちへ
- ・「安心」が得られるまちへ
- ・「心地よさ」が感じられるまちへ
- ・「活気」があふれるまちへ

3. 行政の姿勢と役割

- ・地域経営への転換
- ・協働のまちづくりの基盤強化

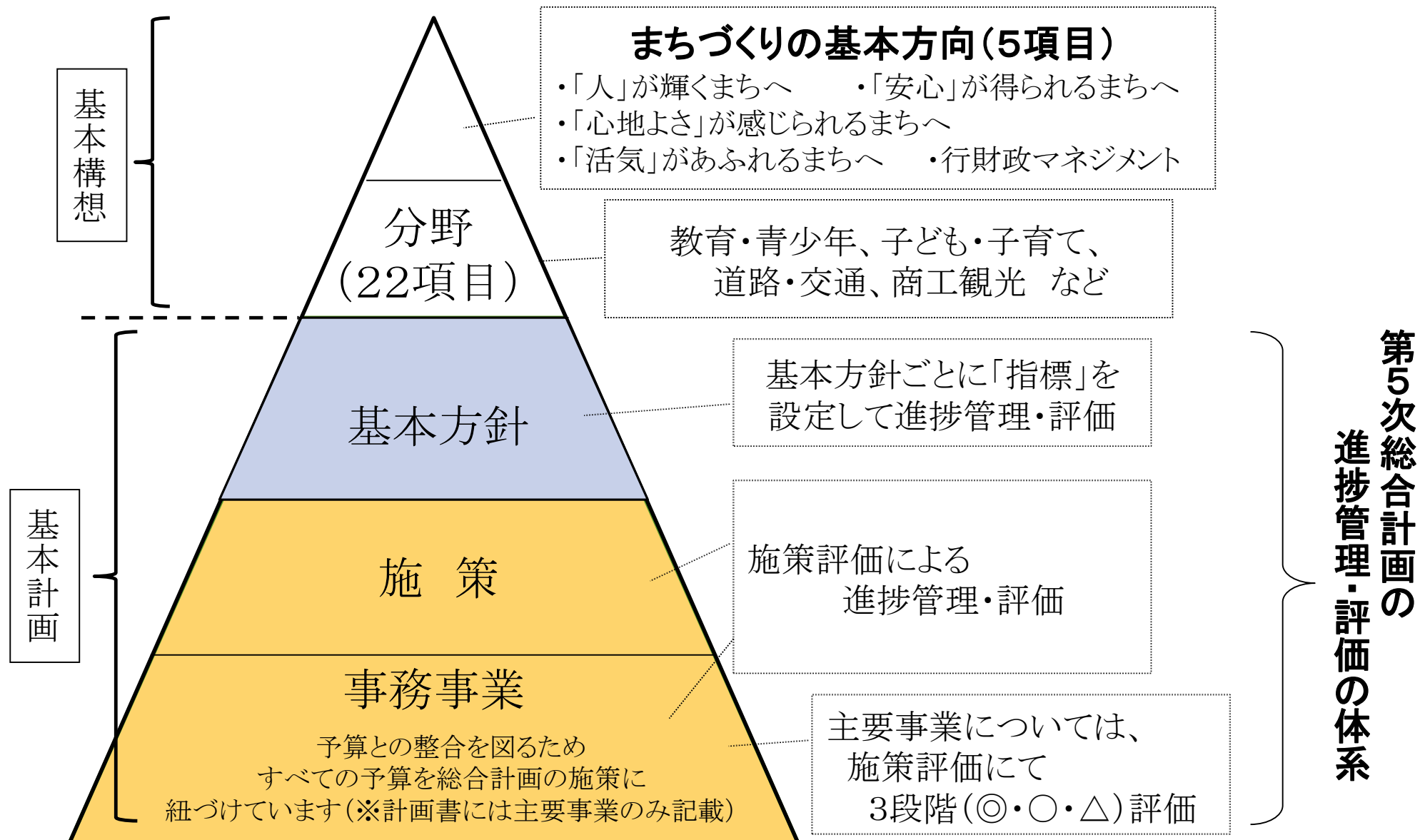
第5次草津市総合計画の計画期間について

基本構想 平成22（2010）年度から令和2（2020）年度まで		
基本計画		
第1期 平成22（2010）年度から 平成24（2012）年度まで	第2期 平成25（2013）年度から 平成28（2016）年度まで	第3期 平成29（2017）年度から 令和2（2020）年度まで

◆平成22年度から令和2年度を計画期間とする基本構想の計画期間において、基本計画は3期に分けて策定



第5次草津市総合計画の施策体系について



第1期基本計画（平成22年度～平成24年度）

基本計画

- ・リーディング・プロジェクト
- ・地域経営の方針
- ・分野別の施策
- ・行財政マネジメント

計画期間

平成22（2010）年度から
平成24（2012）年度まで



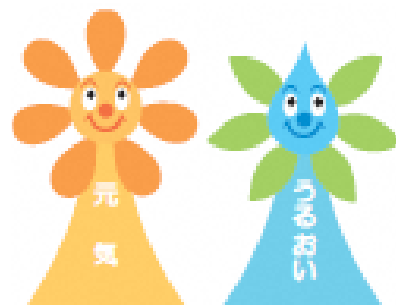
第1期基本計画（リーディング・プロジェクト）

シビック・プライド

ふるさと草津の心をつくる 3つのリーディング・プロジェクト

水と緑と文化に満ちた暮らしプロジェクト

- ・ 市民文化の拠点づくり
- ・ 市民文化を未来につなぐ活動への支援
- ・ 草津川廃川敷地を活用した憩いの空間づくり
- ・ 「くさつエコ・ミュージアム」の展開
- ・ 「うるおいネットワーク」づくり



市民が学んで築く地域プロジェクト

- ・ 子どもの育ち・学びの応援
- ・ 地域と大学が連携するまちづくり
- ・ 地域社会における新しい市民自治づくり
- ・ 地域の「福祉力」の向上
- ・ 地域の防犯・防災力の強化

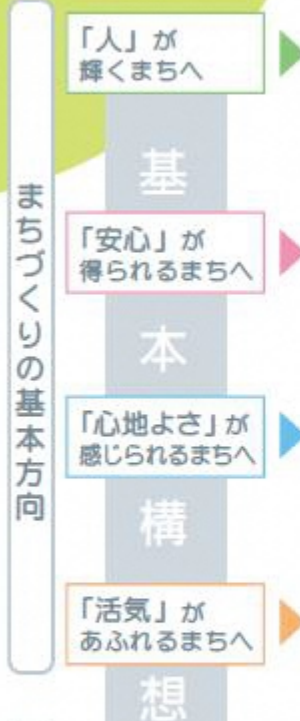
はつらつ草津の未来プロジェクト

- ・ 「草津ブランド」の強化
- ・ 市内産業の集積・ネットワーク化の促進
- ・ 滋賀の魅力拠点となる“まちなか”づくり
- ・ 「農」に親しむ交流活動の促進
- ・ 草津の暮らしを楽しむ観光プロデュース

第1期基本計画（構成）

基本計画

第1期／平成21(2009)年度から平成24(2012)年度まで
第2期／平成25(2013)年度から平成27(2015)年度まで
第3期／平成28(2016)年度から平成30(2018)年度まで



まちづくりの基本方向

行政の姿勢と役割

まちづくりの基本方向と基本計画の構成

シビック・プライド
ふるさと草津の心をつくる3つの
リーディング・プロジェクト



水と緑と文化に満ちた
暮らしプロジェクト

はつらつ草津の
未来プロジェクト

市民が学んで築く
地域プロジェクト



分野別の
施策

■「公共」の領域の広がりへの対応
(1)行動主体の役割分担と協働
(2)コミュニティの働き重視
■厳しい財政状況のもとでの行財政マネジメント
(1)徹底した行財政改革の推進
(2)「選択」と「集中」による事業の重点化
(3)行政評価システムの刷新と公会計制度改革
(4)自治体運営の自律性の強化
(5)公共施設の適正配置および必要経費の平準化
(6)近隣自治体との連携強化
(7)財務体質の強化

行財政マネジメント



行財政マネジメントの推進
○市民から信頼される市政運営
○行財政資源の有効活用

基本計画の位置づけと進捗管理
○中長期的展望のもとで進める計画
○「協働」のもとで進める計画
○行財政システムと連動した計画
○機動的な推進
○臨時的な評価体系

達成度評価
実行性評価
効率性評価

年度末／予算編成
計画期末／計画更新

計画の
進み具合の
“見える化”